

187号の 主な記事

- 第2回定例会概要、議員提出議案 1ページ
- 区長提出議案、請願・陳情の処理状況 2ページ
- 代表質問、一般質問 3~5ページ
- 第1回臨時会概要、議会の構成 6ページ

平成20年第2回定例会

補正予算を含む議案16件を可決

「地球温暖化防止に向けた国民的運動の推進を求める意見書」を含む意見書2件を関係機関に提出

平成20年第2回定例会は6月17日から6月27日までの11日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、水辺のスポーツガーデンの整備費やスポーツセンターの耐震補強工事設計委託費などを計上した補正予算を含む16件の議案と報告5件が提出されました。

これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議員からは、「地球温暖化防止に向けた国民的運動の推進を求める意見書」、「携帯電話リサイクルの推進を求める意見書」が提出され、それぞれ可決されました。意見書は関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、9月中旬にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。



↑小松川境川親水公園(東小松川公園付近)

◎第2回定例会日程◎

- 6月17日 議案上程、委員会付託
- 19日 代表質問
- 20日 一般質問
- 23日 議案審査
- 24日 請願・陳情等の審査
- 27日 委員会報告及び表決



議員から出された議案

意見書は各関係機関に送りました

●地球温暖化防止に向けた国民的運動の推進を求める意見書

賛成 39(自由民主党、公明党、日本共産党、民主党、プロダクト外江戸川)
反対 4(生活者ネット・無所属クラブ、一人の会)
〔内閣総理大臣、環境大臣 あて〕
7月7日の「クールアース・デー」を国民が地球温暖化防止のために、CO₂の削減など具体的に行動する契機とし、クールビズ・ウォームビズの認知度を深めることやエコポイント制度の普及促進に努めることなどを国に求める。

●携帯電話リサイクルの推進を求める意見書(全会一致)

〔内閣総理大臣、総務大臣、経済産業大臣、環境大臣 あて〕
使用済みの携帯電話の適正な処理とレアメタル等の有用な資源の回収促進を図るため、買い替え・解約時にユーザーに対し販売員からリサイクルの情報提供を行うことを定める等の法整備やレアメタルなどの高度なリサイクル技術の開発に加え、循環利用のための社会システムの確立などを国に求める。

区議会ホームページ

URL <http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

区議会ホームページは、ユニバーサルデザインのコンセプトに基づき作成しています。音声読みあげソフトへの対応や背景色、文字色、文字の大きさに配慮した構成になっています。ご活用ください。

また、19年第2回定例会から本会議の映像も公開しています。ご自宅などのパソコンから区議会本会議をご覧ください。

*本会議の当日は、ライブ中継も行っています。

●主な内容 本会議の録画映像、本会議の会議録、議員名簿、議案や請願・陳情の審査状況、会議の予定、区議会だよりバックナンバー、議会用語解説ほか



区長から出された議案

●予算

- 平成20年度江戸川区一般会計補正予算(第1号)
水辺のスポーツガーデンの整備費やスポーツセンターの耐震補強工事設計委託費など6億912万1千円を追加し、総額1983億3401万4千円とする。

●条例(一部改正)

- 江戸川区民間賃貸住宅家賃等助成条例
世帯全員が65歳以上の場合及び身体障害者手帳4級の者を新たに助成対象に加える。
- 江戸川区ひとり親家庭等医療費助成条例
- 江戸川区営住宅条例
中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の改正により、生活保護の基準に相当する者が生活保護に代え、新たに支援給付の対象者とされたことに伴い、生活保護の被保護者と同等の取扱いになるよう規定の整備をする。
- 東京都市計画事業瑞江駅北部土地区画整理事業施行規程及び東京都市計画事業一之江駅西部土地区画整理事業施行規程
土地区画整理事業の進捗に伴い、換地処分に係る清算金について分割徴収する場合における利子の利率を定める。

●契約

- 仮称江戸川区鹿骨地区保育園新築工事請負契約
制限付き一般競争入札により、契約金額2億5305万円で葛西建設株式会社と契約。
- 平井駅南口広場地下機械式自転車駐車場整備工事(その1)請負契約
プロポーザルを経ての随意契約により、契約金額2億1420万円でJFEエンジニアリング株式会社と契約。
- 江戸川区立小学校等冷房化事業(①ブロック)請負契約
プロポーザルを経ての随意契約により、契約金額3億2413万5千円でネグロス・佐々木・江戸川建設共同企業体と契約。
- 江戸川区立小学校等冷房化事業(②ブロック)請負契約
プロポーザルを経ての随意契約により、契約金額3億3075万円で株式会社日設と契約。
- 江戸川区立小学校等冷房化事業(③ブロック)請負契約
プロポーザルを経ての随意契約により、契約金額4億1790万円で株式会社日設と契約。
- 江戸川区立小学校等冷房化事業(④ブロック)請負契約
プロポーザルを経ての随意契約により、契約金額3億8640万円で三菱電機ビルテクノサービス株式会社と契約。
- 江戸川区立小学校等冷房化事業(⑤ブロック)請負契約
プロポーザルを経ての随意契約により、契約金額3億975万円で日和総合設備株式会社と契約。
- 江戸川区立小学校等冷房化事業(⑥ブロック)請負契約
プロポーザルを経ての随意契約により、契約金額3億6714万3千円で三洋関東設備機器株式会社東京支店と契約。
- 物品の買入れ ※
随意契約により、江戸川区内共通商品券(長寿祝品贈呈用)を契約金額1億2450万円で江戸川区商店街振興組合連合会と契約。
- 物品の買入れ
指名競争入札により、スチームコンベクションオープン46台(保育園給食調理用)を契約金額7446万6千円で株式会社上野製作所と契約。

●その他

- 訴えの提起
江戸川区三世代同居住宅資金貸付金の貸付を受けた借受人及び連帯保証人について、長期にわたって返済を怠り、返済の意思も示されないことから貸付返還請求訴訟を提起する。

●報告

- 専決処分した事件の報告
生活一時資金貸付金の貸付を受けた借受人及び連帯保証人について、長期にわたって返済を怠り、返済の意思も示されないことから、貸付返還請求訴訟の提起について24件の専決処分をした。
- 放棄した私債権の報告
債権件数27件、総額1467万6642円の債権を放棄した。
- 平成19年度江戸川区一般会計の継続費の繰越使用
葛西駅東西自転車駐車場建設ほか1件。
- 平成19年度江戸川区一般会計の繰越明許費の繰越使用
くらしの便利帳印刷ほか13件。
- 平成19年度江戸川区一般会計の事故繰越の繰越使用
篠崎駅西部土地区画整理事業ほか1件。

※ 印は賛否の分かれた議案

- 賛成41(自由民主党、公明党、日本共産党、民主党、ネット・無所属) 反対 2(一人の会、プジョー外江戸川)

※印以外の議案は全会一致で可決

会派の略称 ネット・無所属=生活者ネット・無所属クラブ

皆さんから出された請願・陳情

◎今回の定例会で新たに委員会に付託されたもの 付託委員会名

- 34号 発達障害児童の支援に関する陳情 福祉健康委員会
- 35号 篠崎公園地区のまちづくりの再考を求めめる陳情 建設委員会
- 36号 江戸川区の「スーパー堤防は住民の意志を無視してまで進めない」という議会答弁を履行し、北小岩地域のスーパー堤防構想撤回と見直しを求める陳情 建設委員会
- 37号 教育環境を守るためにも、北小岩地域でのスーパー堤防構想の撤回と見直しを求める陳情 建設委員会
- 38号 江戸川区は「スーパー堤防は住民の意志を無視してまで進めない」という議会答弁を履行し、スーパー堤防構想の撤回を求める陳情 建設委員会
- 39号 妊婦健康診断助成の拡充を求める陳情 福祉健康委員会
- 40号 過剰な農薬取締法により、植物からなる、農業用有機資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書提出に関する陳情 総務委員会
- 41号 仮称「江戸川区瑞江3丁目計画」9階建分譲マンション新築工事に関する陳情 建設委員会

選挙管理委員と補充員の選挙

7月10日に4年の任期が満了となる選挙管理委員とその補充員の選挙が行われ、次の方々が当選されました。

この選挙は、地方自治法第182条第1項及び第2項の規定により議会が行うものです。

選挙管理委員	松下 彰 男 (新)	(新)は新任
	佐々木 隆 (新)	(再)は再任
	大場 久 (再)	
	鹿倉 克之 (新)	
同補充員	鈴木 久四 (新)	
	菅野 勇夫 (新)	
	井桁 秀夫 (再)	
	二瓶 誠一 (新)	

平成20年第3回定例会開催予定

- 9月17日(水) 本会議(議案上程、委員会付託)
- 19日(金) 本会議(一般質問)
- 22日(月) 本会議(一般質問)
- 24・25・29・30日] 決算特別委員会
- 10月2・3・6・8日
- 9日(木) 常任委員会(議案審査)
- 10日(金) 各常任委員会(請願・陳情等の審査)
- 21日(火) 本会議(委員会報告及び表決)

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。
 ※傍聴の手続きは、本会議は開催当日の正午以降、各委員会は開会時間前に区議会事務局で先着順に受付しています。
 なお、定員がありませんので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。Tel5662-5556

議員の寄付行為の禁止を徹底します

公職選挙法では、金額の多い少ないにかかわらず、議員の選挙区内での寄付を禁止しています。例えば、祭りや盆踊りなどの地域行事や、学校行事に際しての寄付、出産・新築などの祝金、病氣見舞品も禁止されています。また、区民が議員に対して、寄付を求めることもできません。

区民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

区政への質問

6月19日に代表質問、20日に一般質問が行われ、区政運営、環境問題、子育て支援、教育問題などのほか、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは、質問と答弁の要旨を掲載しています。

代表質問



**行政システム・施策の進め方
公務員定年・教育について**

自由民主党

すが 精二

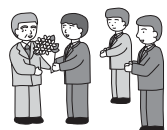
新しい時代の行政システムに向けて、市民参加型の地球温暖化対策を、中小事業者や一般家庭の協力を得てさらに進めていくため、各種団体の一元化を。特にものづくり関係の工場団体は工場協会や地域工場団体等、複数あり、意見の集約や情報の共有に問題があることから、工場団体を一元化し、新たに情報を一本化する窓口づくりを。

地域にはさまざまな団体があり、統合することは有意義であると思うが、これは団体の意思で行うことである。しかし、主旨は理解できるので、そのことを念頭に置きながら地域団体の方々と取り組んでいきたい。

区民と協働し、区長のリーダーシップの下に危機意識と改革意欲を共有した区政運営が行われている。一方、議員が地域を駆け回り意見交換し、地域の声を代弁しても行政施策に反映されない。また、住民の施設に対する要望や改善提案などで区長の承認を得られないということも多くの方が望んでいたことが取り入れられないことがある。施策の進め方はタイミングが大事であり、素晴らしい施策も順序を間違えば実現できない。施策の進め方、住民説明のあり方についての考えは。

行政は地域の皆さんとの情報交換の中で、地域の行政課題を正確にとらえ、合理的に快適なものをつくるため専門的な調査をし、示していくことが責務である。多くの方々の意見をいただきながら行政の責任を果たしていくため、努力している。

これからの超高齢化社会においては働き手が不足し、日本経済の先行きがあやぶまれる。高い勤労意欲を有する高齢者が社会の担い手として活躍し続けることを可能にすることなどを主旨とした法律が16年に成立したが、民間企業等に対するものである。国家公務員法等により、区独自に定年制を変えることはできないが、近い将来には到達する人口減少社会に向かい合い、日本を再定義・再設計することが何よりも肝要であることから定年延長・定年制廃止を取り入れるよう国への働きかけを。



60才→65才→70才

公務員定年延長

ある年齢で労働の線引きをする時代では

なくなっている。公務員は法律によって身分が決まっているので、これを変えていくことが必要だと考えている。

食をとりまく環境は、国が食育基本法を制定してまで取組まなくてはならないほど非常に深刻な状況である。日本人の体にあった和食の大切さを知らせていくには、学校給食が一番効果的であることから、米飯給食を段階的に増やしていく取組みを。

米飯給食は、順次割合を増やしてきていて1週間のうち3回としている。当面は現行で実施していきたいと考えている。

食に関する関心を促し、理解を深めるため、農業体験ができる場所づくりに取組み、有機農業による野菜づくりをしていくなど、教育ファームの推進を。

農業体験は、環境教育や食育も含め、健全育成の面で大変有意義である。区には農業に関する資源が大変多くあるので、関係者と十分連携を取り、支援していきたい。



**温暖化対策の推進、子育て・
熟年支援カード発行を**

公明党

片山 たけお

後期高齢者医療制度についての見解は。

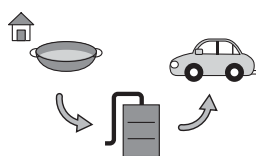
しっかりと運営していかなければならないが、将来に向かっての議論は必要である。

環境問題、地球温暖化対策について

ESCO事業の削減目標の達成について1年間実施した実績は。その効果を区民に知らせるため、本庁舎の玄関などへの現在のCO₂削減量を表示することやホームページで公表することなどへの取組みを。

えどがわ油田開発プロジェクトは、家庭からの廃食油を回収しバイオディーゼル燃料として再生させる事業であるが、現状は。

国で検討していることであるが、洞爺湖サミットにあわせ、7月7日をクールアースデーとし、家庭や区内事業所に呼びかけ、一定の時間に照明を落とすライトダウンの実施を。



油田開発

19年度1年間で、本庁舎1年分のエネルギー使用量に相当する約6000万円の経費を削減できた。一部目標に達成していない部分は、改善に向け努力していく。リアルタイムでの表示は難しいので、わかりやすい公表方法を工夫していく。

始めたばかりであるが、学校、商店の協力を得て、100ヶ所以上から回収している。

区でも出来るだけ協力していきたい。

原油高騰と諸物価高騰の影響について

①学校給食は、保護者負担に影響の出ないよう最善の努力を。

②契約関係の発注物件への対策として、単品スライド条項の適用の検討を。

①現在は給食費に影響が出ないよう栄養士を中心に工夫することで対応している。

②国や都と同様に、実施していく。

協賛店舗で提示すると特典や割引サービスを提供するなど、商店そのものの支援にもつながる仮称子育て支援「すくすくカード」と熟年者の元気応援「いきいきカード」の発行を。熟年者応援カードについては、ボランティア活動等でポイントを集め、ポイントにより何かを還元するなど、区民の元気につながるような新しい発想でのカードの導入を。

事業者の負担を区が負うことなど研究する余地がある。熟年者応援カードは、ボランティア活動等に応じて、介護保険料を軽減することを研究している。

小岩地区の課題について

①にぎわいのある街を取り戻すための小岩駅周辺再開発事業の具体的な取組みと決意は。

②適当な場所がなく空白地域となっている東小岩地域へのコミュニティ施設の設置を。東小岩2丁目の都水道局江戸川北営業所の建物が使われている様子もなく、地域的にも非常に適していると思われるが、今後の地域への開放等について都への働きかけを。

③フラワーロードから鹿骨5丁目までの補助285号線の未施行区間と鹿骨街道の篠崎駅入口から篠崎公園を迂回し柴又街道までの288号線の速やかな着工を。

①地域と協議し、基本構想をまとめる。

②現在も水道局が使用しており、今後も使用していく予定であると聞いている。

③285号線は、早期着工に努める。また、288号線も精力的に進めていく。



**後期高齢者医療廃止、北小岩
18班スーパー堤防撤回を**

日本共産党

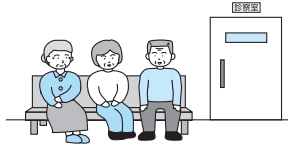
藤沢 久美子

後期高齢者医療について

①医療費削減のために75歳以上という年齢で高齢者を差別することは許されないこと。制度が存続すればするほど高齢者と国民を苦しめること。全ての世代に重い負担と医療切捨てを押しつけること。などの理由から廃止しかないと考える。圧倒的多数の国民が制度に反対し、政府与党の間からさえ噴き出しているこの制度の廃止・凍結などの声をどう受け止めているか。

②あらためて国の調整交付金の別枠化や都の保険料負担軽減措置など財政支援の実施を求め、後期高齢者診察料など医師会からも批判を強める差別医療の撤廃を。また、高齢者の受診を制限し、人命にも関わる保険証取り上

げ、資格証明証は発行すべきではない。認知症や病弱など様々な困難を抱える75歳以上への資格証明書の発行は憲法25条の生存権の保障からも国民皆保険制度の維持からも許されないと考えるが区長の見解を。



後期高齢者医療

答 ①この制度を廃止し、国民健康保険に戻したとしても医療費や保険料は上がっていく。全国市長会等は、こういう医療制度については国が全体を見て保険料や自己負担のこともなどを充分研究し、しっかり議論することを以前から主張してきた。主張が取り入れられない制度にはなったが、できた制度を住民の皆さんがしっかり医療を受けられる体制として維持しなければならない。しかし、将来に向かって本質的な問題が解決したとは考えていないので、国や政府に充分意見を言っていかなければならない。

②調整交付金、差別医療、医療証の問題など要求すべきことは、すでに何回となく要求している。省庁にも出向いて、さまざまな話もしている。

問 北小岩地区のスーパー堤防とまちづくりについては、これまで繰り返し区の姿勢を質し、見直し撤回を求めてきた。北小岩地区では街ぐるみで反対し、スーパー堤防は不必要の声は高まるばかりである。また、他地区より先行して進めると言っている北小岩18班地区でも「スーパー堤防・まちづくりを考える会」の有志住民が、反対の意思を表明し運動を進めている。住民の納得・合意ができていない北小岩18班地区で、今年度中に行うとしている都市計画決定はやめるべきである。また、減歩率4%の区画整理を目指しているが、土地建物を先行買収し、多くの住民を追い出すことになるまちづくりをどう考えているのか。さらに、篠崎公園地区で道路事業認定と区画整理の事業計画決定を強行しようとしているが、住民追い出しの手続きはやめるべきだと考えるが、区長の見解を。

答 地域の多くの方から早く実施してほしいという話を聞いている。反対がある中で強引にやっていくことは考えていない。全ての方々のご納得をいただかなければならないことであるので、地道な努力を精力的に続けていく。今後とも多くの区民の気持ちを一つにして頑張っていきたいと思っている。いままですべて住民を追い出すような整備は、江戸川区のまちづくりの歴史の中で行ったことはない。

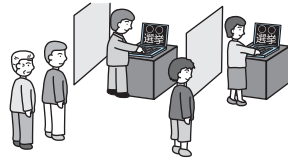


電子投票・京葉交差点立体化・公園の整備を

民主党
中里 省三

問 電子投票は電子投票機を使い、候補者名を画面のタッチパネルから選択し、投票する。

投票用紙に手書きしないことや、投票用紙を投票箱に入れる手間も省け、画面上で候補者名の確認もすることができる。また、正確に投票することができ、自書式投票のときに起こり得る誤字や脱字、開票時に見られる疑問票や無効票をなくすることができる。さらに開票時間が短縮され、人件費の削減にもつながる。電子投票の普及と導入は大変大きな意味を持つと考えるが所見を。



電子投票

答 開票時間の短縮には抜群の効果があるが、江戸川区のように有権者が50万人を超える自治体で実施されたことはなく、電子投票機器の技術的な信頼性が検証されていない。また、公平性の面からも候補者名を一覧表示できないことで、今までの議会の議員選挙では実施されたことはない。今後も国の法改正の動きや先行自治体の事例等を十分に考慮しながら研究していく。

問 京葉道路と船堀街道との交差点である京葉交差点は、朝夕のラッシュ時はもちろんのこと平常時においても渋滞を避けることはできない。都バスなども時間どおりの運行が確保されず、利用者離れにもつながり、渋滞がおきると排気ガスなどの影響で大気汚染が発生し、環境も悪くなる。この状況の解消のためには、京葉交差点の立体化を早期に進めることが重要であり、区民の期待に応えるものである。京葉交差点付近の道路整備状況についての所見を。

答 京葉交差点の渋滞は解決を急がなくてはいいないと認識している。国土交通省は京葉道路を連続立体交差にするため、1期事業で京葉道路の京葉交差点付近490mの区間について現在25mの幅員を33mに拡幅し、2期事業で900mの橋梁建設をする。また、東京都は船堀街道に左折レーンを1車線増やす事業に取り組んでいる。全体の工事を早く進めるため、国土交通省や東京都に強く要請していく。

問 緑の多い江戸川区には、432か所の区立公園があり、さまざまな形の工夫がなされ、区民の憩いの場となっている。これらの公園の中には、生垣で囲いをしているところもあるが、その生垣が途中で抜けているところや、かなり広く隙間になっているところが見受けられる。子どもたちにとっては便利で都合のよい隙間であり、その隙間から左右の確認もせず飛び出していき姿がたびたび見受けられ、交通量の多いところでは大変に危険な状況である。区民の憩いの場が、そして子どもたちの安全安心の公園がこれからも存続するように、区内の公園の点検、補修を。

答 誰にでも使いやすく快適であることが公園管理の基本であり、特に子どもたちの安全が決め手であると考えている。指摘の箇所は早急に対応していく。また、区内2600基

余りある遊具の点検を専門業者に委託している。子どもたちの安全という思いを地域の皆さんと共有しながら、安全で快適な地域の庭というようなものを実現していきたいと考えている。

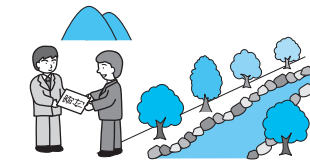
一般質問



「ふるさと江戸川基金」の設置と大規模貸自転車事業の導入を

自由民主党
高木 ひでたか

問 ふるさと納税制度は、自分たちを育ててくれたふるさとに対し貢献したい、応援したいという納税者の思いを実現できる制度であり、今年5月からスタートした。都市部に不利とされるこの制度を活用するため「仮称ふるさと江戸川基金」を設置し、地球環境対策の支援やNPOの活動支援など、寄付を財源として寄付者の思いや郷土愛を具現化する政策メニューをあらかじめ提示しておくことで、他の地方団体に居住する納税者からの政策に賛同する意味での寄付や、区民が用途を限定しての寄付ができるようにしておく。寄付文化を発展させることは共育協働の理念にも合致する素晴らしいことだと考えるが、所見を。



ふるさと納税

答 過疎が進む地方の自治体が寄付を求めることは皆さんが納得してくださることもあるが、本区の場合は、積極的に求めることはできないのではないかなと思う。

問 コミュニティ・サイクル・システム(大規模貸自転車事業)は、環境保護のために自転車の利用を促進させ、渋滞、排気ガス等の自動車の弊害を減らすことができると同時に、駅前、地域商店街の駐輪対策にもなる。また、専用自転車やサイクルポートを広告媒体として利用し、広告収入を得ることもできることや、サイクルポートの整備状況によっては駅前や地域商店街の利便性の向上にもつながることから、実現に向けた調査研究を。

答 国や都との話しあいの中で、緊急に取り組んでもよいのではということで、実現に向けた調査研究を進めていく。



振り込め詐欺対策の強化と安心のまちづくりを

公明党
中道 たかし

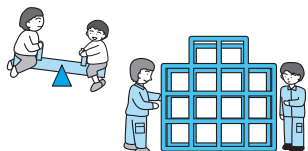
問 対策本部の立ち上げなど振り込め詐欺犯罪へのさらなる対策強化を。

答 関係者とも相談し、情報提供等に努める。

問 携帯電話に含まれるレアメタルのリサ

イクルのため、回収に向けた取組みの推進を。

- 大事な課題であるので、検討していく。
- 学校支援地域本部事業を推進するためのモデル事業の内容は。全区的な展開の構想は。
- 学校応援団事業として学習支援や行事支援をする。成功させ、全区展開していきたい。
- 区立公園の遊具の安全性に対する現状認識は。国の新基準に対する評価は。



安全点検

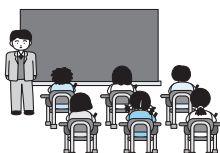
- 安全・安心に利用できる公園が期待されている。適切な管理をするため活用していく。
- 耐震化事業の前倒しを。緊急地震速報装置の早急な設置を。耐震シェルターの助成を。
- 学校は3年以内に完了する。10月1日から運用を開始する。シェルターを含め、制度を活用してもらえ条件整備をしていきたい。
- 東部地域の都営住宅建て替えに伴う余地に、地域図書館の設置を。
- 地域の皆さんの合意により進めていく。



公的保育の充実・妊婦健診14回へ・少人数学級実現を

日本共産党
小俣 のり子

- 財政的効果を検証するなど、区立保育園廃止、民営化計画の再考を。
- 民間に基盤があるので民営化してきた。よりよい方向でやっていかなくてはならない。
- 認可園を希望しながらやむなく認証保育所を利用している保護者に保育料の助成を。
- バランスを考え、分析していく。
- 他区同様に14回の妊婦健診の無料化を。
- 他区の状況で拡充するものではない。
- 学校耐震補強工事の前倒しでの実施を。
- 最も早いスピードで実施している。
- 都として少人数学級に取組むよう申し入れを。区として30人程度学級に取組む予算措置を。30人を超える学級に教職員の配置を。



30人学級

- 都に申し入れる考えはない。区が経費を負担するのは難しい。予算措置する考えはない。個別に適切な対応を取っていきたい。



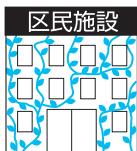
環境問題と地球温暖化対策への取組について

民主党
えぞえ 亮一

- 行政と区民が一体となって進めているもったいない運動の今後の展開も含め、エコタウンえどがわ推進計画実現に向けた取組みは。
- 地域の皆さんや産業界、学校関係者など

の諸団体を含めた推進本部をつくり、その方策を検討し、実践していく。

- 壁面緑化が環境問題に取組む姿勢の象徴になりうることから、行政自らが公共施設に取り入れるなど、積極的な推進を。



壁面緑化

- 新しい技術を研究していく。
- 新川千本桜における駐輪対策は。地下駐車場を自動二輪車に開放するなど有効活用を。
- 地下駐車場の利用も含め、研究していく。



発達障がい支援、プラ資源化でCO₂抑制、非常勤処遇

生活者ネット・無所属クラブ
稲宮 須美

- 発達障がい者の把握は。支援体制整備を。
- 支援のあり方など、確立していく。
- プラスチック資源化は各区任せではなく、23区全体で徹底分別することへの取組みを。



容器包装リサイクル

- 早く足並みを揃えられるよう努力する。
- 「すくすく」のサブマネージャーは仕事の継続性が重要であることから、処遇改善を。
- 実態を見ながら取り組んでいきたい。



新庁舎構想について
教育力の更なる向上を

自由民主党
福本 みつひろ

- 大規模区民施設の改築・改修計画は。中でも最も古い、築47年を経過した区役所本庁舎については新庁舎構想を。
- 大きな課題であり、区民施設だけでなく道路、橋梁等を含め、十分把握しながら進めていく。新庁舎については、交通の至便がよいこと、防災の拠点になることなどさまざまな可能性を視野に入れ、考えていきたい。

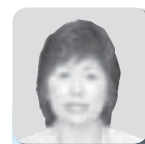
- 教育について
 - ①江戸川区の学校教育の方向性は。
 - ②学習指導要領改正に伴い、子どもたちの基礎的、基本的な知識・技術の習得を徹底させるため教員OBの活用や夏休みの有効活用を。
 - ③科学センターのさらなる拡充を。
 - ④学校・家庭・地域の連携強化のため、学校評議員会への支援強化を。
 - ⑤小中学校の連携についての考え方は。
- ①地域力を生かした学校づくりを進め、地域とともに歩む学校を目指していく。
- ②教員OBはこれからも活用を検討していく。夏休みについては、短縮を検討している。
- ③今後も出来るだけ拡充していく。
- ④評議員活動を活性化させるため、情報交換

- 等ができる場の設定を検討していく。
- ⑤教育上の効果などさまざまな角度から可能性を求めて、調査研究していく。
- 都市交流を深め、子どもたちの自立心や社会性を育むことができることから友好都市鶴岡市での農村漁村体験の場づくりの推進を。



農村体験

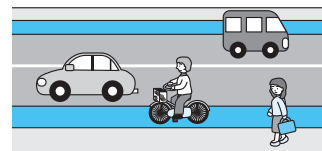
- 自然を春夏秋冬いろいろな機会に体験できることを望んでいる。ぜひ進めていきたい。



小中学生の教育向上支援
自転車の安全強化

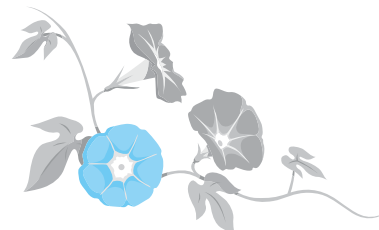
公明党
伊藤 てる子

- チャレンジ・ザ・ドリームへの協力事業所をホームページ上で紹介するなど、区内企業に協力いただくための効果的な働きかけを。
- 生徒から企業への心の交流が生まれることが、企業にとってのやりがいにつながる。
- 学校選択制導入後の各小中学校の教育向上の評価は。地域によっては生活環境の変化等により児童・生徒数の減少が生じているが、よりよい環境をつくっていくための取組みを。
- 評価のため、検証を進めている。学校の自発的、積極的な取組みに対し、財政面などのバックアップを強化していく。
- 自転車走行帯(ブルーレーン)の今後の設置方針は。また、区民に自転車の安全利用のルールやマナーのさらなる周知徹底を。



ブルーレーン

- フラワーロード、環七への設置に向けて警察と協議している。駐輪場利用者への啓発などあらゆる機会を通じ、周知していく。
- 新川に架かる人道橋のバリアフリー化を。新川橋の架け替えの際は、勾配を緩やかに。
- 江戸情緒を醸し出す木製のバリアフリーの橋にする。現在より緩やかにしていく。



区議会ホームページ

URL <http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

これら質問を含む第2回定例会の会議録は9月中旬からホームページでご覧いただけます。ご利用ください。

第1回臨時会

平成20年第1回臨時会が5月23日に開かれました。

この議会では、区長から1件の専決処分の報告があり、これを承認するとともに、議員選出の監査委員(1名辞任)の選任に同意しました。新監査委員に渡部正明議員が就任しました。

また、任期満了に伴う常任委員会委員、議会運営委員会委員の選任と辞任に伴う特別委員会委員の選任も行われました。

区議会の構成(平成20年7月20日現在)

議長 田島 すすむ 副議長 川瀬 やすのり

委員会名	委員名			
常任委員会	総務委員会(9名)	◎川口 としお ○酒井 実 伊藤 てる子	福本 みつひろ セバタ 勇 笹本 ひさし	島村 和成 北川 ひろし 小泉 としお
	生活振興環境委員会(9名)	◎春山 なかじ ○高木 ひでたか 堀江 そういち	関根 まみ子 田島 てつたろう 藤沢 久美子	田中 けん 中里 省三 荒井 てるお
	福祉健康委員会(9名)	◎片山 たけお ○早川 和江 新村 井玖子	中山 たかひと 間宮 由美 えぞえ 亮一	田中 じゅん子 田島 すすむ 片山 とものり
	文教委員会(9名)	◎すが 精二 ○中道 たかし 小俣 のり子	上田 令子 木村 ながと 窪田 龍一	田中 寿一 藤澤 進一 川瀬 やすのり
	建設委員会(8名)	◎須賀 清次 ○竹内 すすむ 須田 哲二	稲宮 須美 滝沢 泰子 うざわ 悦子	渡部 正明 やぶさき 一郎
議会運営委員会(15名)	◎島村 和成 ○北川 ひろし 須田 哲二 木村 ながと 田中 寿一	うざわ 悦子 竹内 すすむ 福本 みつひろ 高木 ひでたか セバタ 勇	笹本 ひさし すが 精二 川口 としお 片山 たけお 春山 なかじ	
特別委員会	行財政改革特別委員会(12名)	◎藤澤 進一 ○田島 てつたろう 須田 哲二 稲宮 須美	堀江 そういち 中山 たかひと えぞえ 亮一 竹内 すすむ	田中 けん 春山 なかじ 渡部 正明 片山 とものり
	街づくり・防災対策特別委員会(12名)	◎うざわ 悦子 ○田中 寿一 上田 令子 木村 ながと	関根 まみ子 田島 てつたろう 藤沢 久美子 滝沢 泰子	早川 和江 セバタ 勇 すが 精二 酒井 実
	熟年者支援特別委員会(12名)	◎笹本 ひさし ○中山 たかひと 新村 井玖子 関根 まみ子	滝沢 泰子 伊藤 てる子 中道 たかし 高木 ひでたか	セバタ 勇 荒井 てるお 川口 としお 片山 たけお
	子育て・教育力向上特別委員会(12名)	◎福本 みつひろ ○間宮 由美 小俣 のり子 窪田 龍一	堀江 そういち 中里 省三 田中 じゅん子 須賀 清次	島村 和成 北川 ひろし やぶさき 一郎 小泉 としお
	議員選出監査委員	田中 じゅん子	渡部 正明	

◎ 委員長 ○ 副委員長

会派別議員一覧(平成20年7月20日現在)

区議会自由民主党 直通5662-5111 http://www.edogawa-j.org/			
幹事長	島村 和成	3617-3471	平井5-51-12
副幹事長	川口 としお	3675-5994	南葛西6-13-14
副幹事長	高木ひでたか	5661-4608	一之江3-18-3
幹事	すが 精二	3679-4445	江戸川2-8-1
幹事	福本みつひろ	3877-0541	東葛西8-7-33-105
幹事	田中 寿一	5679-0413	船堀3-1-3
	中山たかひと	3677-0072	西瑞江3-36-4
	田島てつたろう	3670-2426	春江町2-41-13
	藤澤 進一	3658-0783	南小岩6-28-11
	早川 和江	5678-0777	松本1-10-6
	須賀 清次	3688-7001	東葛西4-27-13
	荒井 てるお	3680-3121	東葛西5-19-14
	田島 すすむ	3670-7716	鹿骨4-21-2
	渡部 正明	3653-9346	松島4-20-13
	やぶさき一郎	3678-8213	新堀1-12-7-901
	小泉 としお	3677-2200	篠崎町2-401-7
	片山とものり	3650-0687	東小岩6-25-14
江戸川区議会公明党 直通5662-5112 http://www.e-komei.com/			
幹事長	北川 ひろし	3685-6134	平井1-1-5
副幹事長	片山 たけお	3657-1775	東小岩3-13-8
副幹事長	竹内 すすむ	3652-6798	松江3-14-19
副幹事長	うざわ 悦子	3689-4709	東葛西6-15-1-306
	窪田 龍一	3686-1939	中葛西1-2-18-1014
	堀江そういち	3658-8597	西小岩2-17-1-603
	関根 まみ子	3653-7553	春江町4-18-10-102
	伊藤 てる子	6903-7742	中葛西5-2-7-309
	中道 たかし	5607-0835	大杉1-1-1-703
	田中じゅん子	3677-4973	上篠崎3-10-11
	川瀬やすのり	5636-5530	江戸川1-21-23
	春山 なかじ	3677-1488	鹿骨3-15-14
	酒井 実	3688-2535	春江町5-12-12
日本共産党江戸川区議員団 直通5662-5113 http://www.cpi-media.co.jp/jcp-edogawa/			
団 長	セバタ 勇	3636-3265	平井2-25-15-504
幹 事 長	須田 哲二	3677-2616	篠崎町5-14-10-1003
	小俣 のり子	3655-0906	本一色2-19-12
	間宮 由美	5661-5051	松江7-11-7
	藤沢 久美子	3659-2317	北小岩5-29-5-301
区議会民主党 直通5662-5116			
幹 事 長	笹本 ひさし	5668-2636	北小岩6-16-1-2F
副幹事長	中里 省三	3652-8725	東小松川2-11-20
	えぞえ 亮一	3677-6622	南篠崎町5-12-2-803
	滝沢 泰子	5609-8111	平井2-24-3
生活者ネット・無所属クラブ 直通5662-1993 http://www.net-mushozoku.jp/			
幹 事 長	木村 ながと	5675-5690	西葛西1-6-11-202
副幹事長	稲宮 須美	5609-0647	小松川1-5-10-1605
幹 事	新村 井玖子	3877-6294	清新町1-1-4-204
一人の会 直通5662-2739 http://www.t-ken.jp/			
	田中 けん	070-5589-8555	中央4-25-14
プロジェクト江戸川 直通5662-0694 http://www.ueda-reiko.com			
	上田 令子	3878-9032	船堀2-11-18

あ と が き

区議会だより第187号をお届けいたします。
区議会や区政について理解を深めていただくためには、傍聴が最も身近な方法です。どなたでもお気軽にお越しください。

区議会だより編集委員会(◎委員長 ○副委員長)

- ◎ 島 村 和 成 須 田 哲 二
- 北 川 ひろし 笹 本 ひさし